

## 2018年新春旗開き

### 不当なボーナスカットついにゼロ、勝ち取った大きな成果を確認！

1月14日大崎南部労政会館において、組合員・OB・家族70名が集まり新幹線地本2018年新春旗開きが開催されました。

成田委員長は、昨年の大きな成果はなんといっても、不当なボーナスカットをついにゼロとしたことであり、川本さんが管理者による不当な添乗を許さないと決意して裁判に立ち上がったことによって勝ち取られたのだと明らかにしました。

そして年休取得に対する診断書強要を訴えた都労委の闘い、そして年休に対する時季変更権の濫発や年休失効を許さない年休裁判が今年の闘いの大きな柱となるが、法廷と職場での闘いを結合してしっかり闘おうと訴えました。そして東一運分会川本さん、車両所分会松井さん、東二運分会西村さんよりそれぞれ決意表明を受け、組織全体で支えて今年一年を闘い抜くことが確認されました。



## リニア建設に新たな疑問、「不可思議な財政投融资」



また、ジャーナリストの檜田秀樹氏から「談合事件からリニア計画を考える」と題した講演を受けました。強引に進められているリニア建設だが、不正入札問題や不可思議な財政投融资について、新たな問題点がクローズアップされつつあり、はたして計画どおりに進むのかということがあきらかにされ、みんなが耳を傾けました。

強引に推し進められるリニア中央新幹線建設、我々社員のみならず関連会社の労働者へのしわ寄せを許さない闘いを、声を大にして訴えていきましょう！

